

平成26年度 佐渡市算数部 活動報告

部長 森 敏美 (金泉小学校)

1 研修主題

「学力向上を目指した授業改善」

2 研修の概要

(1) 授業研究 会場 (会場：沢根小学校)

- ① 期日 7月8日 (火)
- ② 指導者 新穂小学校
校長 香遠 正浩 様
- ③ 授業者 沢根小学校 大川原 伸 教諭
- ④ 単元名 2学年「長さ」
- ⑤ 研究授業で見られた工夫

折れた線アとイの長さを比べる活動を通して、長さの計算でも繰り上がりや繰り下がりができることに気付かせる。

⑥ 指導の概要

- 本時終末で期待する具体的な姿を想定すること
- 本時の指導内容のレベルを落とさず、45分の授業でねらいに到達させるように授業の腕を磨き続けること

(2) 研修会 (会場：金井コミュニティセンター)

- ① 期日 8月5日 (火)
- ② 講師 田上町立田上小学校
教頭 平山 誠 様
- ③ 演題 「学力向上の Key は子どもの学習意欲にある」
- ④ ご指導の概要

〈模擬授業より〉

平山教頭先生から模擬授業をしていただいた。

課題は、中学校の全国学力学習状況調査の問題を基に作られ、式から図へ、図から式へと考えさせる展開であった。

ア 池の周りに植える木の数を式で表させる。木の数を増やした絵をさっと見せた後、式を提示し、「どうしてこの式になるのだろうか」という問いをもたせる。

この共有課題は、グループで考えさせる。式→図

イ 評価問題を授業の中盤に入れる。評価問題は、一人でも解けるように、共有問題より易しい問題とし、「分かった、できた」を実感させる。

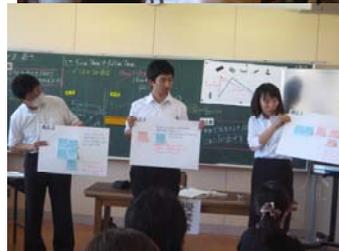
ウ 「式を見ると、その人の考えが分かる。」□の中を子どもから出させ、本時の学びを子どもの言葉でまとめる。

エ 木の数を表す別の式を子どもたちに考えさせ、式の意味を図で表現させる。

図から、どのような式になるかを考え合わせる。図→式

〈ご講義より〉

子どもが意欲をもって生き生きと学ぶ授業にするための課題作りのポイントをご指導いただいた。



3 成果と課題

- (1) 公開授業では、子どもの思考力・表現力を育てる算数指導の工夫について協議が行われ、互いの参考になった。
- (2) 平山先生の模擬授業は授業の組み方だけでなく、日々実践できる技術も紹介していただき、参会者の今後の授業改善につながるものとなった。
- (3) 参加した会員一人一人が、研究会で学んだことを校内に広げ、実践に結び付けていくことが大事である。また、指導力の向上を図るためには、それぞれの学校での成果を情報交換できる仕組みを整えることも大切であると感じた。

